

地すべり学会 中部支部 ニュース

第2号

〒380-1936

中部支部事務局

長野市岡田町41-2

(大栄長野ビル内)

巻 頭 言



幹事長 坂口哲夫

(長野県砂防課長)

地すべり学会中部支部は、長野県・富山県・石川県・岐阜県・愛知県・三重県・静岡県の中部地方7県の会員を統合して、地すべり機構解明の研究及び地すべり対策技術の向上を目的として平成10年末に発足し、今年度で3年目を迎えました。

前述7県の存する中部地方は、急峻な地形・脆弱な地質という問題を抱え、多くの地すべり災害が過去より発生しております。

中部支部では年1回の講演会・現地見学会を開催することを原則としており、平成11年度には長野県北安曇郡白馬村倉下地区を、平成12年度には静岡県静岡市口坂本地区を会場として見学会を開催しました。毎年支部全域の会員から、多くの参加を頂いており、今後も中部支部の代表的な地すべり地を会場として技術の研鑽を図りたいと考えます。またこれと同じく、シンポジウム・講演会についても年1回のペースで開催しており、毎回貴重な講演をいただいております。

さらに平成12年9月には、歴史地震研究会主催の研究発表会・市民講演会を共催し、大成功のうちに会を終了することができました。市民講演会には、200名にのぼる一般市民の方の参加をいただいております。地すべり研究を進めるうえで、このような他団体と連携をとることは、大変貴重で重要であると考えます。

今後、地すべり学会中部支部としては、官・民・学が一体となって地すべり技術の向上を目的として検討を進めてまいりたいと考えております。会員各位の御協力御支援をお願い申し上げます。

以上地すべり学会中部支部の近況をお伝えし、巻頭言といたします。

平成12年度 地すべり学会中部支部総会

平成12年5月19日(金)に長野県長野市内のホテル国際21において会員約150名参加のもとに平成12年度地すべり学会総会が行われました。総会では川上浩支部長の議事進行により、第1号議案から3号議案の報告が行われ、決議されました。

また総会終了後(社)日本地すべり学会総会、特別講演会、シンポジウムが開催され、盛況のうちに終了いたしました。

日時 平成12年5月19日(金) 9:30~10:00
場所 ホテル国際21 弥生の間



川上浩支部長による議事進行

総 会

- 1 開 会
- 2 支部長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 議長選出
- 5 議 事
 - 第1号議案 平成11年度事業報告及び収支予算について
 - 第2号議案 平成12年度事業計画及び収支予算について
 - 第3号議案 役員承認について
- 6 その他
- 7 閉 会

(社)日本地すべり学会総会

時間 10:00~10:30
場所 ホテル国際21 弥生の間

特別講演会

時間 10:30~12:00
場所 ホテル国際21 弥生の間
演題 「地すべり土の残留強度の斜面安定
評価法に関する研究について」
講師 琉球大学教授 宜保清一

シンポジウム

時間 13:00~17:00
場所 ホテル国際21 弥生の間
「大規模構造線周辺における地すべりについて」



シンポジウムと総合討論

講演者 赤羽貞幸(信州大学), 渡辺直喜(新潟大学), 北沢秋司(信州大学名誉教授)
中村三郎(防衛大学名誉教授), 長谷川修一(香川大学), 矢田部龍一(愛媛大学)
座 長 川上浩(信州大学名誉教授), 丸井英明(新潟大学), 白石秀一((株)につさく),
井上公夫(日本工営(株))

大規模構造線周辺地域における地すべり

——趣旨説明——

川上 浩 (信州大学名誉教授)

今回のシンポジウムは中部地方の長野市において開催される。周知のように本州中部には南北方向にいわゆるフォッサ・マグナとよばれる特異な大構造が存在し、その西縁は糸魚川—静岡構造線という大断層になっている。この構造線を境として地質が異なり、西側には中・古生層などの古い岩層が、東側には新第三紀層の新しい岩層が分布する。また、両地域の間では地形的にも顕著な差異が見られる。したがって、西側と東側とでは地すべりの発生形態や規模が大きく異なっている。一方、糸魚川—静岡構造線の中途から赤石山地西縁を南下し紀伊半島から九州にかけて注置こう構造線が東西に延びている。この構造線は四国を縦断し、南側にはいわゆる結晶片岩地すべりあるいは破碎帯地すべりと呼ばれる地すべりが多く分布している。

本シンポジウムでは、糸魚川—静岡構造線、中央構造線などわが国の地質構造の境界をなす大規模構造線の周辺地域における地すべりをテーマとして取りあげることとした。大規模構造線の存在が地すべりの発生に及ぼす影響について検討するとともに、このような地すべりの対策において特に留意すべき点についても議論する予定である。

今回のテーマに関し、議論のたたき台として様々な専門分野から 5 人の方による話題提供が準備されている。他に 3 編の関連論文が寄せられている。まず、大規模構造線沿いの地すべりの特性と地質との関連、地すべりの直接の原因となる地下水の挙動や土質特性など、地すべりの原因や発生機構の検討に必要とされる考え方について話題提供を受ける。続いて、実用的な地すべり危険個所の判定方法、地すべり機構の解明のための調査並びに観測手法、地すべり安定化のための対策工の計画・設計における問題点・留意点についてコメントを頂きながら、討論を進める予定である。特に、地すべり対策工の施工現場における調査並びに観測結果に基づいた会場からのコメントを期待している。多様な観点から活発な討論が行われることを願うものである。

平成 12 年度 (社) 日本地すべり学会シンポジウム

プログラム

(平成 12 年 5 月 19 日)

13:00~13:05	シンポジウム趣旨説明	中部支部・信州大学名誉教授	川上 浩
座長：白石 秀一			
13:05~13:30	(1) 姫川沿いの地すべり・崩壊とその地質特性	信州大学	赤羽 貞幸
13:30~13:55	(2) 北部フォッサマグナ地域の地すべりと地下水水質特性	新潟大学	渡部 直喜
座長：井上 公夫			
13:55~14:20	(3) 長野県南部中部構造線沿いの地質地すべり 中央構造線沿いの地すべり特性	信州大学名誉教授 防衛大学校名誉教授	北澤 秋司 中村 三郎
14:20~14:45	(4) 四国中央構造線沿いの地すべり起源の丘陵	香川大学	長谷川 修一
14:45~15:10	(5) 四国中央構造線付近の地すべりと粘性土の強度特性	愛媛大学	矢田部 龍一
————— 休憩 15:10~15:25 —————			
座長：川上 浩・丸井 英明			
15:25~17:00	コメントと総合討論		
あいさつ			(社) 日本地すべり学会会長

地すべり現地検討会

「静岡県口坂本地区地すべり」

中部支部発足後、2回目の現地検討会を平成12年11月15日～16日「静岡県口坂本地すべり」において実施しました。参加募集を学会誌等で行ったところ、中部支部中心に全国から65名の参加（バス2台）を得て成功裏に終わることができました。

現地検討会実施にあたり、説明のために時間を割いていただいた静岡県静岡土木事務所の各位、見学の便宜を図っていただいた土屋副支部長初め、中部支部賛助会員の方々、現場案内をしていただいた静岡県内各社の方々に感謝すると共に、開催事務局として慣れない事とはいえ現地行程の繁忙さなど、若干の手違いのあった事をお詫び申し上げます。

中部支部企画部会

地すべり学会中部支部
平成12年度現地検討会（静岡市口坂本地すべり）
（平成12年11月15，16日）

●11月15日（水）

- 11:00 静岡駅前（南口） 出発（マイクロバス）
（車中で昼食：参加費等の領収書発行）
- 13:00 口坂本地すべりBブロック着
（Bブロック見学 案内：（株）アイエステー）
- 14:10 Bブロックを出発
（バスで移動）
- 14:25 口坂本地すべりAブロック着
（Aブロック見学 案内：日本工営（株））
- 15:45 Aブロックを出発
- 18:00 静岡着

●11月16日（木）

「口坂本地すべり 検討・討論会」（マイホテル竜宮：3階「朝日の間」）

議事進行：川上支部長，土屋副支部長

- 9:30 開会挨拶 地すべり学会中部支部 川上浩支部長
- 9:35 口坂本地すべりの概要と経過 静岡県砂防総室 松本比呂志係長

10:00	B 地区の概要説明	(株) アイエステー技術部 原田敏雄次長
10:25	休憩	
10:35	A 地区の概要説明	日本工営 (株) 名古屋支店技術部 吉田宇男課長
11:00	総合討論	
11:30	閉会挨拶	地すべり学会中部支部 土屋智副支部長

~~~~ 感 想 ~~~~

「地すべり学会中部支部主催 平成 12 年度現地検討会に参加して」

明治コンサルタント長野支店  
原 田 雅 史

地すべり学会中部支部では、平成 12 年 11 月 15 日～16 日にかけて静岡県静岡市の口坂本地すべり地区において現地検討会を開催した。地元静岡県から 10 名、一般 54 名、学生 1 名が参加した。第一日目は、朝 11 時に JR 静岡駅を出発し、静岡・山梨の県境にほど近い口坂本地すべり地を見学。折からの降雨にもかかわらず活発な議論が交わされた。第二日目は会場を静岡市内のホテルに場所を移し、『口坂本地すべり 検討・討論会』を開催した。

《口坂本地すべり地の紹介》

現地は、静岡市の中心部より北北西に約 30km の南アルプス南麓にあり、一級河川安倍川流域と同大井川流域の分水嶺となっている尾根筋の安倍川流域側の中河内川の源流部に位置する。また、当地すべり地の北方 15km には安倍川源頭部の大崩壊地大谷崩れがある。昭和 35 年に面積 185.94ha が地すべり防止区域に指定され、これにより指定地内の調査と工事が進められている。昭和 63 年 6 月の豪雨により活発化した地すべりに対しこの年、災害関連緊急地すべり、同砂防事業として採択されている。以来、平成元年、3 年、5 年、9 年、10 年と続けて同事業化され、10 余年の年月と約 60 億円の費用を投じて排水トンネル工を主体に集水井工等による立体的な地下水排除工と砂防ダム群建設の 2 本立ての大規模な地すべり防止工事が実施されている。この結果、地すべり本体は徐々に沈静化に向かっている。

調査の計画や対策工法の決定に当たっては、学識経験者や専門技術者の指導助言を得るための『口坂本地すべり対策合同会議』は昭和 63 年度の設置以降継続しているという。

《現地見学会》

現地見学会は、A 地区（幅 350m×長さ 700m）と B 地区（幅 450m×長さ 600m）の 2 地区について、それぞれの地すべり現況、調査手法、対策工法の紹介とその効果、問題点等について議論を踏査方式で行われた。



静岡県口坂本地区地すべり全景



踏査、対策工事ともに従来からの手法だけでなく、最近話題のいくつかの新しい工法・手法を採用している。

対策工事についてはすべり面の深さが 60m 前後と深いことから①RCセグメントタイプを採用し、規模も深度 50m 前後と深い。②井筒中の集水ボーリングは多段施工とし、③排水は排水トンネルに連結となっている。

地上からの水抜きボーリング工も通常タイプの他に④φ300mm の大口径によるものが採用されている。本工法については水位低下効果が絶大だとのことである。

末端部に位置する溪流部では、⑤既往砂防ダムの嵩上げ工、⑥現地発生土を利用した鋼製砂防ダムも採用している。

調査、観測は電話回線を利用した⑦自動観測を採用、地すべり地内には縦横にケーブルが配線されている。

ブロックの中央部の長尺ボーリング孔には孔内傾斜計とともに移動量の把握を目的とした縦型伸縮計を設置し、地すべり挙動に伴うアルミケーシング切断後も観測孔を長期利用に供するための試みの観測を開始している。

今回は、雨傘を片手に高低差 300m の山路を下るというハードな？ものであったが、見学コースのほとんどに階段、手すり等が整備されており一人の落伍者もなく見学会を終了することが出来た。準備・運営におわれた静岡県当局の方々、現地をご案内いただいた(株)アイエステー 原田敏雄氏、日本工営(株)吉田宇男氏には心からお礼を申し上げます。



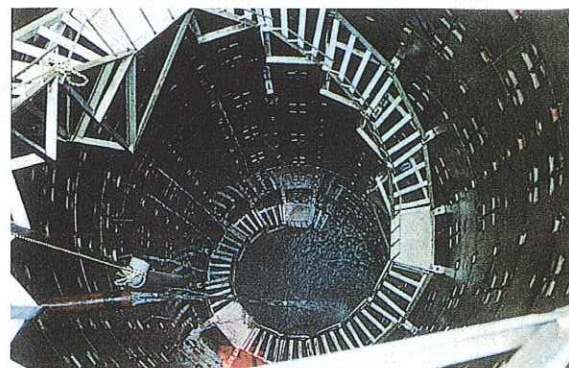
第一日目：現地検討会



落差 30m の滑落崖の下で



第二日目：現地検討会



RC形式の集水井工





既往ダム嵩上げ工

ダム嵩上げ工 H=14.5m  
L=81.5m



鋼製砂防ダム施工中



鋼製砂防ダム

1号ダム H=12.0m 2号ダム H=12.0m  
L=55.0m L=44.0m



孔内傾斜計と伸縮計群

(7) 平成12年11月13日 <月曜日>

建設 土木 新聞 月刊

地すべり学会中部支部 年長野県に次いで2回  
 (川上浩支部長)信州大学 目。  
 名誉教授は、県内でも最 口坂本の地すべりは昭和  
 大級の口坂本地すべり現場 35年に防止区域に指定さ  
 (静岡市)を15、16日の二 れ、その面積は約18000  
 日間にわたって見学会を美 ㎡に及び、この地域は静岡市  
 施する。 中心部から北西に向かって  
 この見学会は中部圏の七 約30\*の安倍川水系中河内  
 県静岡、長野、富山、石川、 川源頭部の東向き斜面に  
 岐阜、愛知、三 として他の  
 重の名県)の 地域の参考に  
 学者、研究機 なるものと研  
 関、行政、民間 究の成果を求  
 建設コンサル めていく。15  
 タントで組織する同学会が 日は現地見学。16日に地す  
 各地域の地すべりに対する べりの概要説明と総合討論  
 関心を高め、現場見学会 を市内のホテルで行う。  
 専門知識人の講演、研究の 今回は学会中部支部静岡  
 成果を提案しながら地域の 地区現地検討実行委員会  
 地すべり防止技術、防災対 地すべり対策事業、災害関  
 策に役立てよう平成10年 連緊急砂防事業で対策工が  
 に発足、現場見学会は昨 進められている。また同地  
 加する。

### 15、16日に見学会

地すべり学  
会中部支部 口坂本の現場で

地すべり学  
会中部支部  
研究の成果を求  
めていく。15



## 地すべり学会中部支部共催事業

## 「歴史地震研究会研究発表会・市民講演会・現地見学会」

平成 12 年 9 月 8 日～10 日まで長野市内の山王共済会館、NBS ホールにおいて「歴史地震研究会（第 17 回）」との共催事業が開催されました。歴史地震研究会は 1984 年（昭和 59 年）に東京大学地震研究所 宇佐美龍夫教授（地震学）主宰により発足した研究会です。理学、工学、農学、防災科学、日本史、郷土史などの研究者や報道関係者、実務技術者などが広く参加されています。第 17 回目のお出席者は 200 名に及ぶ盛況なものとなりました。

地すべり学会中部支部では、研究会、全演題 33 題目のうち第 2 日目（9 月 9 日午前）のセッション「長野県とその周辺の地震地すべり・火山」において演題の企画構成に協力しました。特に「善光寺地震地すべり」や「伊那谷の山地崩壊と巨大地震」「諏訪地域の断層事例」など、長野県内の事例研究成果などについて多くの支部会員の方より発表をしていただくことができました。

また引き続き行われた（午後 2 時～5 時）までの市民講演会では、伊藤和明（元 NHK 解説委員）さんの司会進行により赤羽貞幸（信州大学、地すべり学会中部支部幹事）、北原糸子（東洋大学）、黒岩範臣（元信濃毎日新聞記者）、都司嘉宣、島崎邦彦（東京大学地震研究所）の各氏からご講演をいただきました。市民講演会では多くの一般聴講者から地震に伴う斜面災害への対応方法や防災意識の向上についての質問が寄せられました。

9 月 10 日の現地見学会（参加者 35 名）は、長野県土尻川砂防事務所のご協力により、「善光寺地震と地すべり被害」をテーマに、長野市七会地方から中条村、小川村、信州新町の一円に位置する、倉並地すべり、臥雲院、虫倉山、味大豆地すべり資料館、柳久保池、茶臼山地すべりなどを見学しました。地すべり学会中部支部からは見学会講師として赤羽幹事（信州大学）、飯沼幹事（日本工営）、石井幹事（北陽建設）が出席されました。



歴史地震研究会研究発表会・市民講演会



会場の聴講者





味大豆地すべり資料館（小川村）砂防総代からの説明



都司嘉宣（東京大学地震研），北原糸子（東洋大学）による味大豆地すべり所蔵古文書の閲覧風景

~~~~ 謝 辞 ~~~~

地すべり学会中部支部 様

平成 12 年 9 月には長野市での「歴史地震研究会」開催に際しまして多大の御協力をいただき、まことにありがとうございました。おかげさまで実り豊かな研究会とすることができました。

当研究会の運営が地すべり学会中部支部様との共催事業としてできたことで、歴史記録に残る善光寺地震と土砂災害や地震により形成された地すべり、崖くずれ、天然ダムの現地見学といった誠に満足した内容と感じています。これも地すべり学会中部支部様及び準備に関わって頂いた長野県土木部砂防課を初めとする関係各位のおかげと存じます。

このたび、研究会で発表された研究論文集「歴史地震・第 16 号」を刊行しました。御協力、共催いただいた、地すべり学会中部支部さまへの感謝をこめて寄贈させていただきます。 敬 具

なお、当研究会への入会お問い合わせや予稿集（2,000 円/冊）のご購入希望などございましたら下記までご連絡下さい。 昭和 13 年 3 月吉日

歴史地震研究会 代表幹事 都司嘉宣（つじ よしのぶ）

東京大学地震研究所

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

電話 03-5481-574 FAX 03-5689-7265

e-mail : tsuji@u-tokyo.ac.jp

第 17 回歴史地震研究会プログラム

(1) 研究発表会

2000 年 9 月 8 日 10:30—長野市山王共済会館ホール

〔歴史自刃研究方法論〕 3 編

〔歴史上のさまざまな地震〕 9 編

〔歴史上のさまざまな津波〕 9 編

9 月 9 日 9:00—於：NBS（長野放送ホール） 12 編

〔長野県とその周辺の地震、地すべり、火山〕

藤森徳雄：諏訪地域に見られる断層事例—沖積面下の地質構造

河内一男：越後平野の地震活動と河川流路、潟湖の変遷

松島信幸：伊那谷山地崩壊と巨大地震

早川由紀夫：浅間山天明三年（1783 年）噴火における軽石降下の日付

渡邊健、西村功、宇佐美龍夫：長野県下の史料の少ない地震について

井上公夫：地震砂防—地震による土砂移動の予測—

佐山 守：善光寺地震について

望月巧一：善光寺地震で発生した山崩れから推定される地震の地形変化への影響

都司嘉宣：善光寺地震（1847）の余震時系列と震度分布

原田和彦：松代藩の災害復興—善光寺地震を素材として—

降幡浩樹：善光寺地震の新出瓦版を中心に

石川有三、吉田康宏、青木元：1935 年苗栗、新竹地震（台湾）の再検討

市民講演会

9 月 9 日 午後 2 時—5 時 於：NBS（長野放送）ホール

司会 伊藤和明（元 NHK 解説委員） 総論

講演：

都司嘉宣（東京大学地震研究所）：善光寺地震の震度分布と余震活動

赤羽貞幸（信州大学）：善光寺地震と土砂災害

北原糸子（東洋大）：災害地図の販売戦略—善光寺地震の場合

黒岩範臣（元信濃毎日記者）：善光寺地震で現れた活断層

島崎邦彦（東大地震研）：活断層の評価について—松本市の牛伏寺断層など—

(2) 巡検見学会

9 月 10 日

今回の巡検については、次の 2 つのコースを用意しました。

(A) 善光寺地震地すべり被害地山岳巡検

長野市域

長野（山王ホテル前 8:30）→犀川新橋（下車見学）→山田中→倉並集落（下車見学）

中条村域

→臥雲院（がうんいん）→念仏寺→梅木→横道（下車見学）→横道トライアルランド

→清水（虫倉山西斜面）→

小川村域

→味大豆（あじまめ、昼食）→

信州新町域

→柳久保池→

長野市域

→湧池（岩倉山）→有旅（うたぎ）→茶白山→小松原活断層→長野駅（16:00）

(B) 気象庁松代地震観測センター見学

長野（山王ホテル前）→気象庁松代地震観測センター→松代真田宝物館→

（昼食時）→長野駅（解散、15 時ぐらい）

第 1 回地すべり学会中部支部シンポジウム
● 長野の地すべりー多様性と共通点 ●

平成 13 年 2 月 9 日には長野市山王共済会館において会員 100 名余りの参加のもと地すべり学会中部支部シンポジウムが開催されました。長野県内において活発な挙動をしている複数の著名な地すべり地について、地すべりブロックの現状報告や対策工の効果判定結果、地域住民の情報公開の事例報告など、多岐にわたっての報告が行われ、活発な議論が交わされました。

中部支部企画部会



「大網地すべりについて」
 姫川砂防事務所 伊藤誠記氏



シンポジウムの聴講者

●シンポジウムの趣旨説明

日本地すべり学会中部支部が発足して、すでに3年がたとうとしております。この間、支部では支部独自の活動を行ってこようと、企画部会を中心として検討をしております。その活動のひとつとして、中部地方に分布する大規模地すべりのデータを各県の副支部長を通じ収集してまいりました。そのなかでは、中部支部には太平洋に面した斜面から、標高 2000 m を越える山岳地帯・日本海側の豪雪地帯の斜面など地形・気候の変化に富んでいること、地質的にも第三紀層の分布地域・中古生層の分布地域・火山地帯など多くの地質帯が複雑に分布していることを、あらためて認識させられました。

このため、この地域に発生する地すべりもそれぞれの地形・気候・地質帯の特性を反映した、いろいろなタイプのものがみられ、興味深い地域であることを再認識しました。

そのような地域のなかでも、長野県は東半分がフォッサマグナに属し、西半分は西南日本に属しています。県の中央には糸魚川静岡構造線が南北に縦断し、西南日本の内帯と外帯との境界には中央構造線がのびています。このため、県の北東側では第三紀層の泥岩に由来する地すべり（第三紀層地すべり）が多発しています。また、糸魚川静岡構造線の北側や中央構造線に沿った地域では、それぞれ特徴的な地すべり（破碎帯地すべり）が発生しています。また、志賀高原では火山岩地帯のなかでの地すべり（温泉地すべり）も発生しています。

これらの地すべりを比較することにより、それらの地すべりの特徴をより明確にし、その共通点を探ることにより、今後の地すべりの対策の一助としたいと考えております。

今回のシンポジウムでは、最近、長野県内で発生した地すべりのいくつかについて、地すべり変動地形・地質について報告していただき、それをもとにした討論のなかで、長野県各地で発生している地すべりの特徴を明らかにし、その共通点を模索していければと思います。

限られた時間のなかであります。活発な討議をお願いいたします。

地すべり学会 中部支部企画部会 白石 秀一

〜〜 プログラム 〜

- | | | |
|-------------------------------|---------------|------------|
| 1 シンポジウムの趣旨説明 | 地すべり学会中部支部 | 企画部会 |
| 2 地すべりによる特徴的な地表変位 | 明治コンサルタント株式会社 | 内藤 哲 |
| 3 茶臼山地すべりに関連する諸資料の性質と今後の課題 | 日本総合建設株式会社 | 望月 巧一 |
| 4 千曲川沿いに発生した岩盤地すべり | 長野県上田建設事務所 | 松林 孝文 |
| 5 下石川地すべりの地質 ー特に埋没谷についてー | 株式会社 日さく | 白石 秀一 |
| 6 大網地すべりについて | 長野県姫川砂防事務所 | 和沢伊久夫・伊藤誠記 |
| 7 地質構造に規制された地すべりー倉下地すべり(その1)ー | 明治コンサルタント(株) | 山崎 充 |
| 8 長野県落合地すべりとすべり面 | 日本物理探鉱(株) | 内田 克 |

広 報

● 中部支部からのお知らせ ●

既に地すべり学会誌 (Vol. 37, No. 4 2001) にてお知らせしておりますが、きたる平成13年5月25日(金) 15:00~17:00 まで長野市山王共済会館において、平成13年度地すべり学会中部支部総会、講演会を開催いたします。中部支部会員、賛助会委員、特別会員の皆様におかれましては、ふるってご参加願います。なお参加申し込みは下記要領にてよろしくお願い申し上げます。

平成13年度 地すべり学会中部支部総会・講演会開催案内

地すべり学会中部支部

下記のとおり、平成13年度(社)日本地すべり学会総会及講演会を開催いたします。ふるってご参加下さいませようご案内いたします。

記

1. 開催日程

平成13年5月25日(金) 15:00~17:00

15:00~15:20 総会

15:30~17:00 講演「地すべり地における地下水の挙動」信州大学名誉教授 川上 浩

17:15~19:15 意見交換会

2. 会 場 山王共済会館 Tel 026-228-3011 Fax 026-228-8388

〒380-8586 長野市岡田町30-20

※JR長野駅から徒歩10分、タクシーで5分

参加申込書 (申し込み締切り 5月10日)

| 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 総 会 | 講 演 会 | 意 見 交 換 会 |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| | | | | | |

*参加希望欄に○印をしてください。また、意見交換会に参加希望の方は、会費(5,000円)を下記口座にお振り込みください。

振込先 八十二銀行県庁内支店
ジスベリガツカイチュウブシブ
支店番号 212 普通口座 545700

申し込み・連絡先：〒380-0936 長野市岡田町41-2 (大栄長野ビル)
地すべり学会中部支部事務局 Tel・Fax 026-264-6165

宿泊のご案内

ご出席の皆様へ、宿泊のご案内を申し上げます。宿泊を希望する方は、4月30日(日)までに、直接下記へ電話またはFAXにてお申し込み下さい。

①「山王共済会館」 一泊朝食付 6,835円(税, サービス料込み)

長野市岡田町30-2 (申し込み時地すべり学会出席と申告のこと)

申込先：TEL 026-228-3011 Fax 026-228-8388

※JR長野駅から徒歩10分、タクシーで5分

②「ホテル国際21」 一泊朝食付 8,000円(税, サービス料込み)

長野市県町576 (長野県庁前)

申込先：TEL 026-234-1111 Fax 026-234-1406

※JR長野駅から徒歩20分、タクシーで5分

長野東急シェルスエ西口~シャトルバス(150円)があります

●●●●●●●● 支 部 特 別 会 員 ●●●●●●●●

- 石川県森林土木協会
(社) 地すべり対策技術協会中部静岡県支部
- 〃 〃 〃 長野県支部
- 〃 〃 〃 北陸富山県支部
- 〃 〃 〃 石川県支部
- 長野県地すべり対策協会
- 長野県地質ボーリング業協会
- 長野県治水砂防協会

(8 団体 平成 13 年 3 月 13 日現在)
(敬称略)

●●●●●●●● 支 部 賛 助 会 員 (61 社) ●●●●●●●●

- (株)青木建設長野営業所
- (株)アルプス調査所
- (株)アンドー
- イビデングリーンテック(株)長野営業所
- 応用地質(株)長野支店
- (株)オサシ・テクノス
- 小谷建設(株)
- 川崎地質(株)中部支店
- 川中島建設(株)
- 関東地質(株)長野営業所
- 基礎地盤コンサルタント(株)中部支社
- 木村建設(株)
- (株)キンキ地質センター名古屋支店
- 熊金ボーリング(株)
- (株)建設コンサルタントセンター
- (株)興和長野営業所
- 国土監理(株)
- 国土防災技術(株)静岡支店
- 国土防災技術(株)長野支店
- 国土防災技術(株)名古屋支店
- 五大開発(株)
- 五大開発(株)静岡営業所
- 犀協会
- (株)サクセン
- 三和ボーリング(株)
- (株)シーティーエス長野支店
- 総合地質コンサルタント(株)
- (株)ソック
- 大成基礎設計(株)長野事務所
- 大成基礎設計(株)東京支社
- 大北工業(株)

- 中部地下開発(株)
- (株)中部地質
- (株)中部日本鉱業研究所
- 土屋産業(株)
- 長野技研コンサルタント(株)
- 長野治山林道協会
- (株)日さく長野支店
- (株)日さく静岡営業所
- 日特建設(株)長野支店
- 日本エルダルト(株)
- 日本基礎技術(株)長野営業所
- 日本工営(株)信越事務所
- 日本工営(株)名古屋支店
- 日本工営(株)北陸事務所
- 日本総合建設(株)
- 日本物理探鉱(株)長野事務所
- (株)ネプロ
- 姫川建設(株)
- (株)富士和
- (株)北信ボーリング
- 北陽建設(株)
- (株)北竜
- (株)細野建設
- (株)みすず総合コンサルタント
- 明治コンサルタント(株)静岡支店
- 明治コンサルタント(株)長野支店
- 明治コンサルタント(株)名古屋支店
- (株)守谷商会
- (株)理学
- 鷲澤建設(株)

(敬称略)

●●●●●●●● 地すべり学会中部支部規定 ●●●●●●●●

- 第 1 条 地すべり学会会則第 8 項第 31 条にもとづいて支部を置き、地すべり学会中部支部（以下支部という）と称する。
- 第 2 条 支部会員は、主として中部地方（愛知県、石川県、岐阜県、静岡県、富山県、長野県、三重県）在住で本部に入会している一般会員、賛助会員及び特別会員をもって構成する。
- 第 3 条 支部は、学会の目的を達成するための事業のうち、支部に関するものを行う。
- 第 4 条 支部に次の役員及び顧問をおく。

| | |
|-------|-----|
| 顧 問 | 若干名 |
| 支 部 長 | 1 名 |
| 副支部長 | 若干名 |
| 会計監査 | 2 名 |
| 幹 事 長 | 1 名 |
| 副幹事長 | 若干名 |
| 幹 事 | 若干名 |
- 第 5 条 支部長、副支部長、会計監査及び顧問は、前年度役員会が支部内の会員のうちから推薦し、総会において承認を得る。幹事長、副幹事長及び幹事は支部長が委嘱する。
- 第 6 条 役員任期は 2 年とし、再任を妨げない。
- 第 7 条 支部長は支部を代表し、その会務を総括する。副支部長

は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時は、その職務を代行する。会計監査は、支部の会計を監査する。幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長は、これを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

- 第 8 条 事務局は、幹事会において協議のうえ決定する。
- 第 9 条 支部の会議は、総会、役員会及び幹事会とする。定例総会は、毎年 1 回、臨時総会、役員会及び幹事会は、支部長が必要と認めたときに随時召集する。
- 第 10 条 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の時は、支部長の決定による。
- 第 11 条 支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。
- 第 12 条 支部の経費は、本部交付金、支部賛助会員費、支部特別会員費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。
- 第 13 条 支部の予算と決算は、総会の承認を受け、支部長は地すべり学会長に報告する。
- 第 14 条 本規定を改廃しようとするときには、総会の議決を経なければならない。

附 則

- 1 本規定は、平成 10 年 12 月 3 日より施行する。